

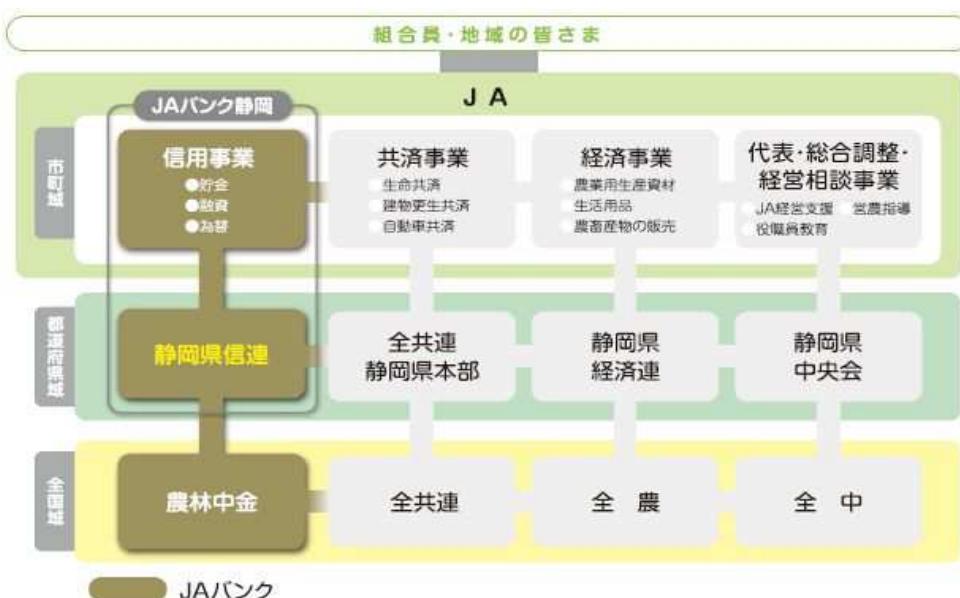
静岡県信連について

1. 静岡県信連の概要

(令和7年9月30日現在)

- 設立：昭和23年8月
- 住所：静岡市駿河区曲金三丁目8番1号
- 会員数：42会員（正会員22会員／准会員20会員）
- 出資金：1,613億円
- 役員数：経営管理委員10名／理事5名／監事3名
- 職員数：271名
- 店舗体制：本店／富士営業部／浜松営業部

2. JAグループ組織図



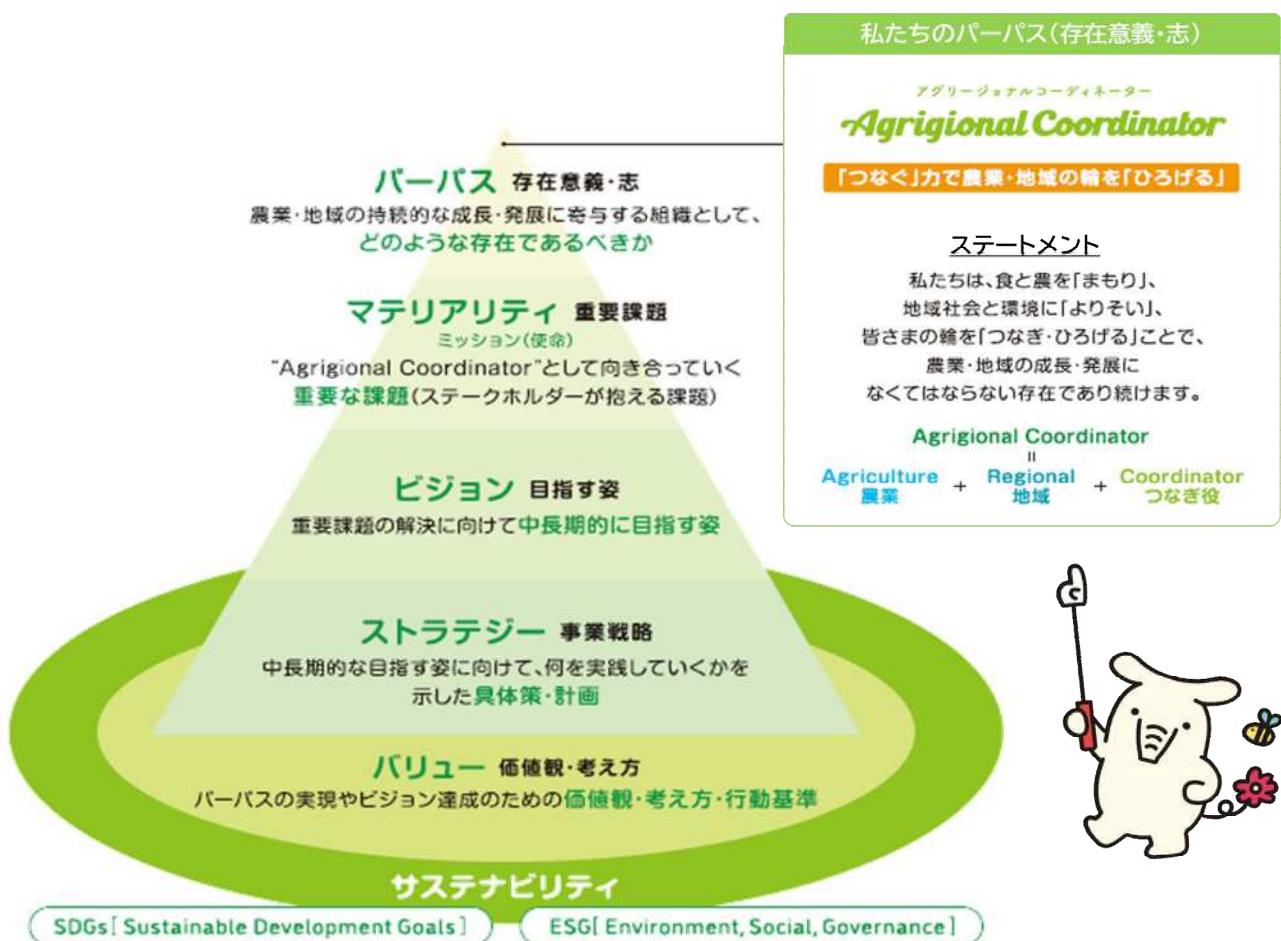
3. JAバンク静岡のネットワーク



4. 当会の考え方

〔パーパスを起点としたサステナブル経営体系〕

当会は、農業・地域の持続的な成長・発展に寄与する組織として、『Agritional Coordinator（アグリージョナル・コーディネーター）～「つなぐ」力で農業・地域の輪を「ひろげる」～』というパーパス（存在意義）を掲げ、このパーパスを起点とした「サステナブル経営」を展開しています。



理念・行動規範・役職員の行動指針

理念

- 連合組織金融機関として調和を大切に効率的な組織機能を發揮します。
- 創造性ある金融サービスをとおして地域社会と夢のあるつながりを目指します。
- 社会的責任を自覚した健全経営を行います。

行動規範

- 連合組織金融機関**
系統金融機関として資金の運用と信用秩序の維持機能の役割を担い、自己責任に基づいた健全経営を確立し、会員への安定的利益還元と機能提供を図ります。
- 地域金融機関**
(1)金融サービス、情報の提供をとおしてお客様の豊かな暮らしに貢献します。
(2)地域のパートナーとして農業の発展と地域経済に貢献します。
(3)縁を大切に生活環境に根ざした文化活動に貢献します。
- 組織・職場の活性**
(1)職員の個性を大切にし金融のスペシャリストを目指し幅広い視野に立って能力の開発と人材の育成を実践します。
(2)系統金融組織と職場の合理性・効率性を常に追求し、自由開放な職場風土を作ります。

役職員の行動指針

- 信頼に対し実意(誠意・熟意・好意)を持って行動します。
- 社会的公共性を踏まえその責務を果たします。
- 創造性と協調性を持って目標に向かい邁進します。
- 主体性ある行動により改革と飛躍を目指します。
- 豊かな人間性とやりがいを創出し幸福を追求します。

[マテリアリティ [重要課題] の特定]

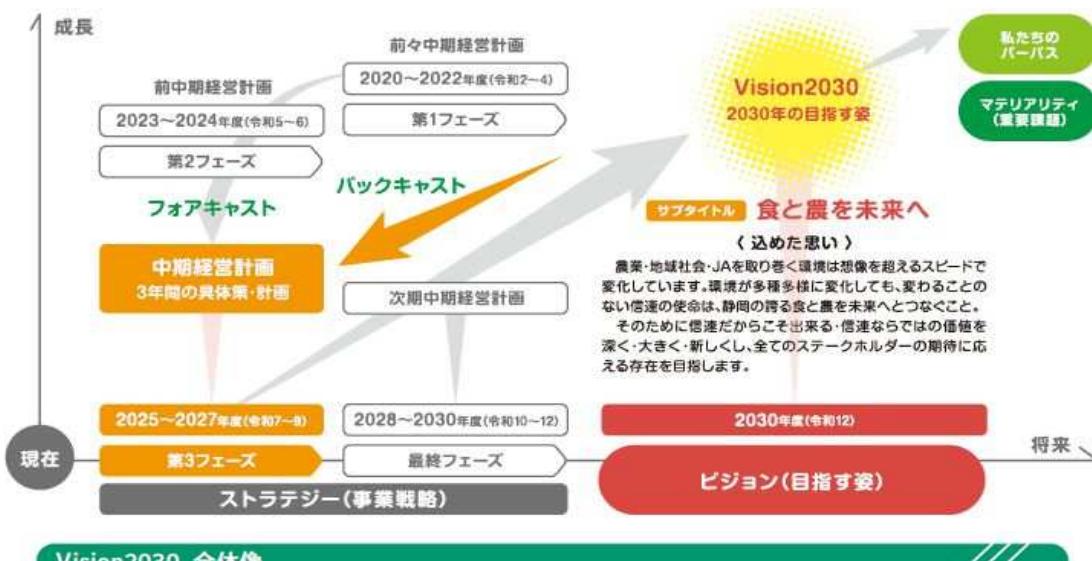
「Agrigional Coordinator」として向き合っていく重要な課題として、私たちのステークホルダーを、ESGの観点にJAを加えた4つに大別し、これに合わせて4項目のマテリアリティを特定しました。

マテリアリティの特定に当たっては、外部・事業環境分析やSDGsを含めた外部要求事項等を統合し、妥当性を検証しています。※環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)+JA



[ビジョン [目指す姿] 及びストラテジー [事業戦略] の位置づけ]

「マテリアリティ(重要課題)」を解決するために、私たちが中長期的にどのような姿になっているべきか(目指す姿=ビジョン)として“Vision 2030”を掲げ、向こう3年間(2025~2027年度)で何を実践していくのか(事業戦略=ストラテジー)を“中期経営計画”で明らかにし、具体的な事業活動を展開していきます。



マテリアリティを解決するために、私たちが中長期的にどのような姿になっているべきか(目指す姿=ビジョン)を「Vision2030～食と農を未来へ～」として設定しています。



[ストラテジー [事業戦略] = 「中期経営計画」の全体像]

ストラテジー（事業戦略）として、2025年度からの3年間を実践期間とする「中期経営計画」を策定し、策定に当たっては、現状を前提に組み立てるフォアキャスト（現状から未来の順算）に加え、私たちの目指す姿からバックキャスト（望ましい未来からの逆算）する手法を併用しています。

また、事業活動を通じて達成すべきSDGs項目を基本目標1～4として戦略ごと設定しています。



◇ JAバンク自己改革の取組み

農業を取り巻く状況は厳しさを増すなか、JAグループは、平成26年に自らの改革として「JAグループ自己改革」を策定しました。JAバンクも、JAグループの一員としてこれまで以上に農業・地域に貢献していくため、信用事業の取組みを「JAバンク自己改革」として取りまとめ実践してきました。

当会におきましても、JAバンク静岡アグリサポートプログラムをはじめとした農業者支援やJAらしい金融サービスの提供等の県域施策を推し進め、今後も引き続き、農業所得増大・地域活性化に結び付く取組みを継続していきます。

●信連による県域施策

取組項目	
農業所得増大と地域活性化に資する踏み込んだ対応	JAバンク静岡アグリサポートプログラムの実践 農業者（組合員）への融資サポート及びコンサルティングの実践 JA担い手サポートセンター機能構築への取組み 販路拡大による農業者の所得向上 ・企業等とのビジネスマッチング（系統や農業者所得に繋がる取組み）
JAが営農経済事業に全力投球できる環境整備	JA営農・経済事業の成長・効率化に向けた取組支援 生産資材等価格高騰への支援 (JAが農業生産資材等の供給価格抑制のために行う事業への費用助成措置) JA店舗機能・運営体制の整理 非対面チャネルの普及促進 信用事業合理化策及び事務の集約・効率化
農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供・地域貢献	住宅資金を通じたSDGsに貢献する取組み JAバンク食農教育応援事業の展開 ・食農教育補助教材の寄贈 農畜産物直売所利用促進への取組み（JAカード5%割引） 店舗再編に伴う金融移動店舗車両のJAへの導入支援



◇ 農業メインバンク機能の強化等にかかる取組み

当会は、平成28年度よりJAバンク全国施策ではカバーしきれない領域を補充すべく、全国施策と併せて「JAバンク静岡アグリサポートプログラム」を展開し、県内農業者の所得向上及び持続的な発展に向けた取組みを実践しています。

① JAバンク静岡保証料助成

農業資金のお借入をされる農業者を支援するため、保証料助成による金融支援を行っています。

② JAバンク利子補給

農業資金の融資を受ける農業者の借入負担の軽減を図り、経営をバックアップするため、利子補給による金融支援を行っています。

③ 自然災害等による農業被害への金融支援

台風・凍霜害・雪害等の自然災害により影響を受けられた農業者の早期復旧を支援するため、利子補給・保証料助成による金融支援を実施しています。

④ 補助金活用支援

農業における補助金活用を支援するため、外部専門機関と連携し、農業者が活用可能な補助金の情報提供や申請支援を行っています。

⑤ 担い手育成支援

農畜産業の担い手の育成や、地域農業基盤の振興・発展及び地域活性化に繋げるため、県内の農業高校等の学生が行う研究等に対して費用助成を行っています。

○ 研究等に対する助成金目録贈呈式



《令和7年8月5日 教育委員会にて》



《令和7年8月27日 県立農林環境専門職大学にて》